

令和元(2019)年度事業峻別の評価結果について

総合企画部人事課

1 総論

人口減少に伴うまちの存続に対する強い危機意識の下、昨年度に引き続き、57の事務事業を対象に評価を行った。なお、今年度は、予算要求書を基に評価を行い、事務事業の細部まで検討の対象とした。

また、今年度の新たな取組として、指定管理事業者及び第三セクターの中から6事業者を抽出し、検証を行った。指定管理事業者に関しては、民間事業者が有するノウハウを活用し、サービスの向上や経費の縮減といった効果が発揮されているかなどについて、第三セクターに関しては、市民サービスの向上、地域振興といった効果を発揮しているか、また、行政を補完・代替・支援する組織として適切な役割を担っているかについて検証した。

2 検証プロセス

(1) 事務事業予算

市長が予算要求書から抽出した57の事務事業を対象に、担当課へのヒアリングを行った。ヒアリングは、7月3日から10月30日までに計19日(約33時間)にわたって行った。

また、評価の第三者性及び客観性を確保するため、附属機関である行政改革推進委員会が選定した4事業(路線バス等確保事業、柏崎シティセールス推進事業、U・Iターン促進事業、介護保険特別会計繰出金)について外部評価を行った。9月25日及び30日の2日間に外部評価会議を開催し、担当課へのヒアリングや質疑応答の審議を行い、様々な立場から市民目線による評価を行った。

(2) 指定管理事業者及び第三セクター

本市の公の施設の指定管理事業者及び第三セクターから市長が抽出した6事業者((公財)かしわざき振興財団、(社福)柏崎市社会福祉協議会、特定非営利活動法人 柏崎まちづくりネットあいさ、(公財)柏崎地域国際化協会、(株)カシックス、(公社)柏崎市シルバー人材センター)を対象に、担当課同席の上、各事業者の代表者、担当者へのヒアリングを行った。ヒアリングは、7月24日から8月28日までに計6日(約11時間)にわたって行われた。

また、外部の専門的な視点による検証として、上記のヒアリング結果及び6事業者の財務諸表等の関係資料を基に、本市の政策推進事業において政策コンサルティングを業務委託している株式会社経営共創基盤から検証に関する助言を受けた。

3 評価結果

上記の検証プロセスを経た評価結果は、次のとおりである。

(1) 事務事業予算

総括的な評価としては、各事務事業において社会的な役割を終えたと判断できる支出を削減し、より効果的・効率的な事務の執行方法への見直しを図ったほか、類似事務・関係事務については整理・統合を進めるものとなった。

事務事業ごとの個別の評価結果は、添付の一覧のとおりであり、57の事務事業のうち、54事業について見直しの評価を行った。

(2) 指定管理事業者及び第三セクター

公の施設の管理運営に関しては、収支の改善による採算性の確保、施設の効用を最大限に発揮するための一層の有効活用の促進、市民目線を意識した公正性の確保等の評価を行った。また、事業者の組織構成に関しては、人材確保の強化や活性化等について、財務面に関しては一層の財務基盤の確保についての評価を行った。さらに、事業展開に関しては、時代や社会ニーズの変化を踏まえた事業の見直し、本市が行う事業への一層の協力の促進、原発立地自治体である本市の特性をいかした事業展開についての評価を行った。

事業者ごとの検証結果は、添付の一覧のとおり

4 評価結果に基づく担当課への指示等

(1) 事務事業予算

令和2（2020）年度予算に関しては、予算編成方針に述べたとおりであり、要求までに各課等に伝達した指示や評価を踏まえた要求に対し、3の評価結果に基づいた市長査定を行い、編成を進めるものとする。なお、その後の事情変更により、指示や評価に基づく事業展開が困難となり、新年度予算への影響が生じた場合は、早急に財政管理課に申し出ること。

なお、令和2年度以降に関する中長期的な指示や評価については、令和3（2021）年度予算に向け、引き続き、検討・作業を進め、適宜、市長に報告すること。

また、3の評価結果に記載した以外にも、ヒアリング又は個別の協議の際に行った評価、指示、質疑における議論等を踏まえ、適宜、検討及び報告を行うこと。

(2) 指定管理事業者及び第三セクター

3の評価結果による各事業者への結果通知を確認の上、公の施設の指定管理にあつてはモニタリング時のチェックにおいて、補助金・負担金等の支出にあつては交付要件等において、委託料等の支出にあつては業務の仕様要件において、評価結果を踏まえた指導・指示、要請を行うこと。

No.	所属名	事業名	令和元 (2019)年度 当初予算額(円)	市長による最終的な評価
1	企画政策課	総合戦略推進経費	2,059,000	特記事項なし
2	企画政策課	路線バス等確保事業	150,981,000	補助を行っている路線については、運行の実態把握に努め、適正な経費執行となるよう取り組むこと。また、交通事業者と連携し、利用者の意向も把握しながら、様々な運行の在り方について検討を進めること。
3	元気発信課	ふるさと応援事業	132,367,000	総務省の指示に適切に対応した上で、返礼品に柏崎らしさを押し出しながら、柏崎市への想いを強めて寄附を行っていただけるようなイベント出展、パンフレット作成、PR活動を地道に継続し、寄附件数の増加という結果を出すこと。
4	元気発信課	柏崎シティセールス推進事業	18,215,000	運営主体を市から他へ移し、事務局を含めて民間主体で活動できる体制構築を検討すること。イベント開催中心の事業を見直し、観光や産業に結び付き、定住促進につながるような事業にシフトしていくこと。雰囲気づくりの段階を終え、移住・定住につながる具体策を考えること。
5	元気発信課	U・Iターン促進事業	19,775,000	首都圏で定期的を実施している出張相談会や県等主催セミナーに参加し、移住志向者へ向けた活動を継続し、相談者を丁寧に行うことにより、移住者増加、関係人口増加という結果を出すこと。
6	福祉課	介護給付費	926,316,000	障害福祉事業所がどのような支援を市に求めているのか、人員体制、勤務表等の資料の提出、聞き取り等を行い、現状把握と分析を行うこと。それらを踏まえ、優先的な課題に対応するための新年度予算計上を検討すること。
7	福祉課	意思疎通支援者養成研修事業	763,000	養成研修の実績や効果を把握・分析した上で新年度予算を検討すること。特に手話については、研修受講者が少ない状況の中で養成研修の必要性、派遣事業の公平性を担保させる方法の検討など、全面的に見直しをすること。
8	福祉課	障害者相談支援事業	25,205,000	新年度予算の見直しも視野に入れ、委託事業所や他市町村への聞き取りにより適正な委託内容、委託料等の検討を行い、今後の障害サービスの在り方も踏まえ、合理的な理由に基づき、新年度予算を計上すること。
9	福祉課	生活保護適正化運営対策等事業	3,812,000	特記事項なし
10	福祉課	生活保護費	855,028,000	生活保護受給者の安心・安全を確保するため、ケースワークの在り方や地域との連携の見直しを図るとともに、生活保護受給者の増加の実態を踏まえ、一層適正な保護決定に努めること。
11	介護高齢課	介護保険特別会計繰出金	1,423,710,000	特別養護老人ホームの新設に先立ち、介護人材の確保の上で既存の特別養護老人ホームの空定員の充足を優先する方策を検討すること。また、全国的な介護人材の不足を踏まえ、元気な高齢者や外国人の活用の可能性について、事業所の取組状況を検証しながら、検討すること。
12	健康推進課	健康展事業	729,000	類似イベントの統合により経費抑制、来場者数の増加、職員の負担軽減を実現した他課の事例があることを踏まえ、健康まつりと歯の健康展について、時期の調整や関係機関との協議を行いながら、統一的な実施を検討すること。
13	健康推進課	風の街こころの健康づくり事業	8,076,000	利用者の少なさを考慮すれば、現状のスペース、人件費、人員配置は合理的ではない。相談員を2名の見直しを含め、元気館への機能移転を検討すること。

No.	所属名	事業名	令和元 (2019)年度 当初予算額(円)	市長による最終的な評価
14	健康推進課	健康増進事業	2,384,000	事業全般において、今まで以上に計画、実践、評価、見直しの過程を意識して、施策の効果が見える形で示せるように実施していくこと。健康ポイント制度は、令和2年度からの休止を検討すること。
15	健康推進課	食育推進事業	298,000	事業全般において、今まで以上に計画、実践、評価、見直しの過程を意識して、施策の効果が見える形で示せるように実施していくこと。
16	健康推進課	健康増進計画推進事業	628,000	同上
17	子育て支援課	ファミリーサポートセンター事業	2,400,000	懸案の一つである通学支援について、継続的に福祉課と協議し、代替サービスの方向性について検討すること。
18	子育て支援課	結婚活動応援事業	1,500,000	社会福祉協議会へ委託した12月の初回イベントが今後につながる結果となるよう、女性の応募者の増加などに努めること。次年度予算は、イベントの内容、状況等を踏まえたものとする。
19	子育て支援課	県立こども自然王国管理運営費	77,199,000	隣接のじよんのび村との連携による食材の共同仕入れも含め、経費節減について具体的な協議を指定管理者と進めていくこと。
20	子育て支援課	県立こども自然王国整備費	76,337,000	特記事項なし
21	保育課	地域子育て支援拠点事業	20,779,000	元気館全体の活用方法の方向性について、子どもに関係するものを集約した方が良いのか、関係課と協議すること。子育て支援室、ジャングルキッズ、ファミサポについて、実績やニーズ調査を元に在り方を整理、検討すること。
22	保育課	地域子育て支援交流施設整備事業	1,250,000	一部施設のエアコンについて、埋め込み式の費用を考慮し、リーズナブルなものへの代替を検討すること。
23	商業観光課	商業活性化推進事業	12,400,000	まちゼミの負担金については、実績や効果を踏まえ、減額を検討すること。創業者支援利子補給金については、対象者を創業後5年以内とするものの改正を検討するとともに、創業者の成功事例集の発行についても検討すること。
24	商業観光課	海水浴場安全対策費	13,810,000	市内15ある海水浴場の安全確保を支えるライフセーバーの確保に向け、期間中の宿泊先を含め、必要な環境整備や支援を図ること。
25	商業観光課	誘客宣伝事業	9,438,000	より効果的な広告宣伝活動を行うため、代理店や広告アドバイザーの活用を検討するとともに、国の補助制度の活用の可能性についても検討すること。
26	商業観光課	広域観光推進事業	12,090,000	デジタルサイネージによるPRについては、場所、期間、タイミングを工夫すること。また、内容については、花火だけにこだわらず、本市の魅力を網羅した内容となるよう工夫を図ること。
27	商業観光課	柏崎港観光交流センター管理運営費	4,248,000	柏崎観光協会との連携を図り、今後の夕海の在り方の検討を進めるとともに、市内海水浴場等における水上バイクなどのマリンスポーツの在り方について、来夏までに、条例を含めたルールづくりを検討すること。階段昇降機は、現状の夕海の利用実態を勘案し、廃止を検討すること。
28	商業観光課	松雲山荘ライトアップ事業	4,900,000	観光協会、市内旅行社と連携を図りながら、グリーンシーズンを含め、松雲山荘、飯塚邸、貞観園の周遊コースの商品化に向けた検討を行うこと。
29	商業観光課	インバウンド推進事業	2,000,000	観光協会、市内旅行社と連携を図りながら、グリーンシーズンを含め、松雲山荘、飯塚邸、貞観園の周遊コースの商品化に向けた検討を行うこと。検討に当たっては、海外からの誘客も意識しながら、企画・検討を行うこと。

No.	所属名	事業名	令和元 (2019)年度 当初予算額(円)	市長による最終的な評価
30	ものづくり振興課	ものづくり活性化センター施設整備事業	0	スピード感と時代認識を持ち、新しいことにチャレンジする要素を取り入れた柏崎技術開発振興協会の予算組みを検討すること。検討に当たっては、受講生の募集状況等を踏まえ、適切な時期からの見直しを目指すこと。
31	農林水産課	たん水防除施設維持管理事業	15,828,000	操作員の負担軽減のため、極力現場で水位を確認せず、携帯を使って水位が見られるような技術を取り入れられないか、費用対効果を考慮しつつ、主要な排水機場への導入を検討すること。 電力自由化による他の電力への切替えの可能性を検討すること。
32	農政課	農林水産業総合振興事業	32,975,000	イノシシ被害に関しては、引き続き、被害状況を的確に把握し、地域住民と連携しながら、国庫補助金を活用した電気柵の設置や猟友会による捕獲など、適切な対策を行うこと。
33	農政課	鳥獣被害対策事業	780,000	同上
34	農政課	人・農地プラン推進事業	1,095,000	集約化が進まない実態に関して、担い手へのアンケートを行い、理由や課題の洗い出しを行うこと。 集落単位で、モデルケースとなるような事例をつくり、他の集落に取組を拡大できるような話し合いを進めること。
35	農政課	青年就農支援事業	16,500,000	新規就農者の取組について、情報発信することで対象者の意欲を向上させるとともに、更なる新規就農者の増加につなげること。
36	維持管理課	道路管理費	157,253,000	新庁舎への移転を踏まえ、日石歩道橋エレベーター管理委託の契約期間について、長期継続契約とすることの可能性を検討すること。
37	維持管理課	みなとまち海浜公園管理事業	9,097,000	施設の修繕を行うに当たっては、必要と思われる箇所を精査の上、新潟県と適切に協議して進めること。
38	維持管理課	柏崎・夢の森公園施設管理費	73,877,000	施設の修繕を行うに当たっては、利用頻度の高いプログラムに関連した箇所に限定するなど精査の上、指定管理者と適切に協議して進めること。中長期的には、他の施設との一体的な管理も見据え、プログラム等取捨選択や修繕箇所の精査に努めること。
39	維持管理課	柏崎・夢の森公園施設整備事業	1,000,000	同上
40	教育総務課	奨学金基金積立金	43,194,000	基金残高の漸減や国の給付型奨学金、大学独自の助成制度の実態を踏まえ、市の貸付けの対象が真に奨学金を必要としている者への支援となるよう、必要により認定要件の見直すなど、今後の奨学金制度のシステムの在り方を検討すること。
41	教育総務課	教員住宅管理費	816,000	門出小学校の閉校(平成24(2012)年3月)以降入居者がいないことを踏まえ、存続、管理、除却、売却、転用などについて、関係課や関係団体とともに方向性を検討すること。
42	学校教育課	特別支援学級介助事業	67,915,000	介助員の人数については、必要とされる人数の積算を明示の上、予算要求に反映させること。
43	学校教育課	教育情報支援事業	6,437,000	現在の契約の在り方をゼロベースで見直すとともに、情報関連の講座内容も真に必要なものを精査すること。
44	文化・生涯学習課 (青少年育成センター)	青少年健全育成事業	5,368,000	青少年育成委員に関しては、次年度の街頭育成活動を4回とし、報酬及び費用弁償の削減を検討すること。中長期的には、今まで青少年育成センターが行ってきた青少年育成事業の縮小を視野に、後を引き継ぐ部署の負担軽減も合わせて、関係機関との協議・検討を進めること。

No.	所属名	事業名	令和元 (2019)年度 当初予算額(円)	市長による最終的な評価
45	文化・生涯学習課	文化会館整備事業	1,870,000	竣工後に生じた現象に関して、設計上の瑕疵の有無、危険性の有無について確認すること。外壁調査結果を基に建築住宅課と協議を行い、安全対策を講じて、修繕計画を立て、次年度以降の修繕工事に反映させること。
46	スポーツ振興課	市民スポーツ大会経費	2,729,000	スポーツ行政を進める上でのスポーツ推進委員の役割、重要性については理解するが、スポーツ推進委員に関する規則で定数77人以内と規定する人数については、少子高齢化に伴う人口減少に見合った見直しを行うこと。
47	スポーツ振興課	スポーツ事業支援経費	24,645,000	(一財)柏崎市スポーツ協会における事務局体制への補助金負担が大きいことを踏まえ、協会の財政状況や今後の在り方や方向性を明確にするための協議を行った上で、補助金の減額を検討すること。
48	図書館	移動図書館費	2,051,000	図書館(貸出文庫・移動図書館)、学校図書室、学校読書支援員の連携と役割分担について、学校教育課と協議すること。
49	図書館	図書館サービス事業	47,021,000	図書館(貸出文庫・移動図書館)、学校図書室、学校読書支援員の連携と役割分担について学校教育課と協議の上、児童の読書環境整備等の改善の必要性を踏まえた学校読書支援員(小学校)の増員を検討すること。
50	博物館	軽井川南遺跡群調査事業	3,420,000	遺跡発掘調査事業の予算要求に当たっては、一律ではなく、重要な遺跡等の優先順位を付けて行うこと。報告書の刊行に際しては、経費が掛からない工夫をすること。
51	博物館	県営ほ場整備関連遺跡調査事業	4,187,000	同上
52	博物館	博物館振興事業	2,322,000	有料に値するような企画展(特別展)の計画を検討すること。リニューアル後の入館者数が増加しなかったことを踏まえ、展示をより多くの方々から見てもらえるような方法・手段を検討すること。 企画展の集客に際しては、ポスター・チラシの印刷について一括発注による経費の削減を検討するほか、ポスターの掲示やチラシの配布以外にも、集客に向けた様々なアプローチを検討すること。
53	博物館	旧ふるさと人物館管理運営費	1,832,000	現在博物館で管理している収蔵品(資料)の棚卸しを行い、常温保存できるもの、空調管理しなければならないものの分別を行い、適切な保存に努めること。
54	博物館	旧鵜川小学校管理費	485,000	現在保管している旧鵜川小学校にある物品の移設先について、綾子舞関係者等と相談すること。施設の解体については、保管物品の行き先を確定させた場合は、新年度予算での予算要求を行うこと。
55	博物館	飯塚邸管理運営費	8,050,000	町内会に支払っている業務委託料については、開館日の変更を含めて減額を検討すること。・つるし雛の実施については、今後も継続すること。
56	博物館	文化財保存整備事業	4,679,000	飯塚邸、松雲山荘、貞観園といった文化財をより多くの方からお越しいただけるよう、施設の活用という観点から他部署との連携を図ること。
57	消防総務課	消防団車両整備事業	21,340,000	団員数が少ない地区での災害対応や積載車の運用の困難さなど、地区の実情を考慮した上で班体制の見直しを行い、令和3年度から、新しい消防団組織による運用を開始すること。消防団車両整備については、新しい班体制を踏まえ、令和3年度予算までに整備計画を立てること。班体制見直しの対象となる町内会に対しては、消防団幹部及び分団長との協議を踏まえ、丁寧な説明に努めること。

No.	事業者名	事業者区分	市長による最終的な評価	
1	特定非営利活動法人 柏崎まちづくりネットあいさ	指定管理事業者	①	かしわざき市民活動支援センターの利用実態は、市民の交流・発信の場としての意義を見出せるものになっていると評価しております。今後とも、施設の効用を最大限に発揮できるよう、一層の有効活用をお願いします。
			②	かしわざき市民活動支援センターの採算面においては、人件費の負担が重く、初年度の収支で黒字を確保したことは評価していますが、法人全体の収入に占める指定管理料の割合が高いことを踏まえ、指定管理以外の業務の受託を増やすことにより、法人全体の財務基盤の強化に努められることを期待します。
			③	法人の監事が1名となっておりますが、事業規模や信頼性の向上を考慮すれば、2名とすることが望ましいと考えますので、検討をお願いします。
			④	昨年度は指定期間の1年目として、研究・検討の年であったと推察しますが、公の施設の管理運営を行う以上、一般市民からは公務員と同等として見られることを念頭に、引き続き、適切に業務に当たられるようお願いいたします。
2	公益財団法人 柏崎地域国際化協会	第三セクター	①	日々、社会への貢献度の高い様々な事業に取り組まれていることについて、評価しております。一方、今後の事業内容については、協会設立の目的に照らしつつ、時代や社会ニーズの変化も踏まえ、交流事業の在り方を見直すなど、一定程度の事業の絞り込みについての検討をお願いします。
			②	事業採算では、収入に占める市からの負担金の割合が高いものの、黒字を確保していることについては、評価しております。一層の採算性の確保のため、上記の事業規模の見直しのほか、自主事業における収益の改善の検討をお願いします。
			③	将来においても社会に対する協会の貢献度を維持するため、次の世代を見据えた組織体制の構築の検討をお願いします。
3	公益社団法人 柏崎市シルバー人材センター	指定管理事業者	①	ワークプラザ柏崎については、固定費の負担が高い経営状況の中、一定の利用収入を得ることができていると考えます。採算的には、多少の変動があるものの、指定期間中の平均は黒字である一方、直近期中で2期連続の赤字となっております。利用者の評価は高いと認められることから、一層の採算性確保のための経営努力をお願いします。
			②	ワークプラザ柏崎の利用実態は、市民の交流・憩いの場としての意義を見いだせるものになっていると評価しております。今後とも、施設の効用を最大限に発揮できるよう、一層の有効活用をお願いします。
			③	今後、高齢化社会が更に進展し、様々な分野での人材不足が懸念される中、引き続き、介護を始め、子育て、製造業等の分野における人材派遣への注力をお願いします。
4	株式会社 カシックス	第三セクター	①	コスト削減の実現、市民サービスの向上を目指し、本市の担当課とも連携の上、本市業務におけるRPA、AIの導入に注力されるようお願いいたします。
			②	事業ポートフォリオの安定化のため、050施策の進捗の努力は、評価いたしております。御社における官民の業務比率については、今後、一層の努力により民間受注の拡大による比率の改善を図られることを期待しております。
			③	本市で実施している包括OSについては県内を中心に他の自治体への展開を、また、安定ヨウ素剤配布管理システムについては全国の前立地自治体への展開を図られることを期待しております。
			④	上記以外にも、前立地自治体である本市の特性をいかし、被災者管理に関するシステム等の開発や原子力発電所及び関連企業に資する事業の展開の検討についても期待しております。また、コワーキングスペース(K.ViVo)の活用策についても、積極的に取り組んでもらいたいと考えます。
			⑤	貴社の将来を支える人材については、U・Iターン者の獲得や女性職員流出の引き留めなどにより着実な確保に努めていただき、特に、上記の事業展開を行うに当たっては、一層の専門性の高い人材の確保に努められることを期待しております。
			⑥	直近期中における内部留保の実態を踏まえ、次なる施策に向けた人材確保や設備投資等の有効活用の検討をお願いします。

No.	事業者名	事業者区分	市長による最終的な評価	
5	公益財団法人 かしわざき振興財団	指定管理事業者 第三セクター	総括事項	① 引き続き、各施設の収支改善や集客増に向けた運営方法の検討をお願いします。あわせて、第三セクターとしての存在意義を認識しつつ、民間企業のノウハウを取り入れながら、各施設の運営に取り組むようお願いします。
				② 各施設の周年事業については、実施の是非そのものから検討いただき、実施する場合であっても、単なるイベントの開催ではなく、継続的な集客力を高めるための取組とされるようお願いします。
				③ 本市が各施設の運営主体の在り方や運営方法の見直しに関する検討を行う際は、これまでの知見を踏まえた助言等の支援をお願いします。
			個別事項	① 史跡・飯塚邸については、既に次年度から市の直営に切り替えることを決定していますが、運営主体の円滑な切り替えや事業の改善に資する助言をお願いします。
				② 柏崎海洋センター(シーユース雷音)については、指定管理料は発生していないものの、赤字の状態が継続しています。収支±ゼロまでの改善は可能な水準と思われるため、一層の経営努力をお願いします。食材費の取扱いや他の施設との共同仕入れなどについては、引き続きの検討をお願いします。
				③ コレクション展示館第1展示館(痴奴の家)については、売上増加及び支出削減が限界水準に近いと推察します。立地上の課題も見受けられるため、今後、移転も視野に市との協議への参画をお願いします。
				④ 大崎温泉雪割草の湯については、直近期中で事業損益を黒字化した点は、評価しております。近隣施設との連携などを含め、今後も利用者数の増加に向けた経営努力をお願いします。
				⑤ 西山自然体験交流施設(ゆうぎ)は、冬場の季節性の影響があるものの、比較的安定した事業運営となっていました。指定管理期間の終了となり、指定管理者が交代となることから、施設の管理運営業務に支障が生じないよう円滑な引継ぎをお願いします。
				⑥ 各体育施設については、利用者の全体は増加傾向にある反面、事業収益が減少傾向にあり、赤字となっている面も見受けられます。指定管理料も高額であることを踏まえ、収入の増加及びコストの抑制による採算性の改善努力をお願いします。
				⑦ 産業文化会館については、直近期中では、利用者数の増加は見られるものの、事業収入は微減しています。人件費を含め、施設を維持するための固定費に見合った収入規模を確保するのは困難と推察しますが、一層の経営努力をお願いします。
6	社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会	指定管理事業者	総括事項	① 引き続き、各施設の収支改善や利用者の増加に向けた運営方法の検討をお願いします。
				② 本市が各施設の運営主体の在り方や運営方法の見直しに関する検討を行う際は、これまでの知見を踏まえた助言等の支援をお願いします。
			個別事項	① 高齢者生活支援施設結の里、高齢者用冬期共同住宅ひだまり及び西山町いきいき館については、今後、市が施設の在り方に関する検討を行う際は、これまでの知見を踏まえた助言等の支援をお願いします。
				② 総合福祉センターについては、固定的な経費の負担が重い中、収入の大半を指定管理料で賄っている実態を踏まえ、より一層の自主財源確保のための努力をいただくとともに、施設利用料金については市内の類似施設との均衡を図りながら見直しを行うなど、採算性の改善の検討をお願いします。
				③ シニアエクササイズ、相談事業等の赤字事業については、職員数及び人件費割合も考慮した上で、事業継続についての検討をお願いします。
				④ かしわハンズ事業については、商品の製作内容及び販路、事業採算性も考慮した上で、事業の継続についても検討をお願いします。